

（質問）
この美しい花は向
のどでしようか？
答えは巻末頁にて！



VOL. 15
APRIL
2023

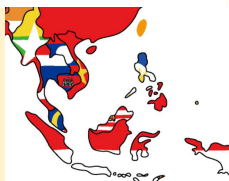
News Letter

宇都宮大学国際学部・国際学研究科
同窓会東南アジア支部

宇都宮大学国際学部・国際学研究科同窓会東南アジア支部は
同窓会本部承認のもと2017年8月に創設されました。
東南アジアをこよなく愛する同窓生のネットワーク再構築を
目指し2017年9月よりニュースレターを発行しています。
このニュースレターが 一人でも多くの同窓生に届き
ネットワーク が広がっていくことを切に願っています。

CONTENTS

1. ご挨拶 2. 活動報告 3. 寄稿 4. タイの昨今（第15回）
5. 新年度特別企画 6. トコロ変わればザ★談話（第8回）
7. 狙え！インスタ映え!?（第11回） 8. とともに感じる東南アジア（第11回）



1 ご挨拶

みなさん、こんにちは！タイにも外国人観光客が戻りコロナ禍前の賑わいを取り戻しつつある今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？徐々にコロナから解放されつつある今年度はフットワーク軽く日々楽しみたいものです。今年度も東南アジア支部をよろしくお願いたします。

（東南アジア支部事務局 大畑美優紀/タイ在住）

2 活動報告

タイ在住宇大新年会



1月28日（土）タイ・バンコクにてタイ在住同窓生が集まり新年会が開催されました。今回は既存メンバーの他に日本から視察旅行に来られた宇都宮在住・宇大同窓生でもある床井ゆづ園オーナー床井ご夫妻、ご夫妻のアテンドをされた足利銀行の又市様、そしてカセサート大学留学中の福田彩那さんをお迎えし、初対面ながらも世代を超えにぎやかなひと時を楽しむことができました。

連載コーナー

～中学お受験事情～



2月末にて今学期が終了し小6を終えた息子。春から同校の中等部に進学です。もともと同校の中等部に進学させるつもりだったので、「中学受験」に関心がなかった我が家でしたが、1月に入り塾の先生の「私立校は無駄な授業が多いから公立の進学校を受験すべきだ」との言葉に影響を受け、一瞬公立校受験を考え出し迷走した時期がありました。今回は、その時の経験から「タイの中学お受験事情」を紹介してみたいと思います。

タイは日本同様中学までは義務教育なので誰でも学区内の中学校への進学は保証されていますが、いわゆる「進学校」への進学を希望する場合は学区内外問わず受験が必要になります。特に在学に中等部が設置されて

いない場合は中学校への受験が必須なので、必然的に受験への意識が高まります。

進学校と言われる学校では3月の本試験前の1月から2月にかけて「プレテスト」というものが行われ、その結果（上位何位までに入れば合格の確立高）で自分の立ち位置を確認することができます。学校によって試験日程が異なるので複数校のプレテストを受け複数校の本試験日に備えます。タイの公立校はほとんどが中高一貫校なので、中学受験でいい学校に入ってしまうと高校でも内部枠にて優先的に進学できるのが大きなメリット。もちろん高校入試で外部生受験はありますが、中学受験よりもぐっと定員数が減るので、相当厳しい戦いになります。

そういう意味では中学受験というのは非常に大事な節目でもあるのです。

そんな中学受験事情を知った頃、当の息子は同校での内部進学クラス分け試験で希望の理系クラスに入れたこともあり、同校進学一択で公立校受験を拒否。一方で公立校も受けてみれば受かるかも？と受験を強要しようとする諦めの悪い親（私達）。そんな迷走する我が家に喝を入れてくれたのが保護者会で傍聴した青少年育成に携わる精神科医の講演でした。その先生はタイのトップ校に在籍しながら心の成長が未成熟な学生を例に挙げ、「子供を成績だけで評価してはいないか？」「親の希望を一方向的に押し付けて

タイの昨今～第15回～

いないか？」等々を私達保護者に問い、「心の学びの大切さ」を強調されました。講演内容の全てが耳が痛くなるような話で、多くの保護者はダンマリ…。私は隣の夫と顔を見合わせ以心伝心、息子の公立校受験中止を即決したのでした。

さて、タイの学校は卒業式もなく通常通りに長期休暇突入。サマーコースも始まり学校に残った友達、去った友達、去ったけど戻ってきた友達、様々な人生の選択があり、新たな中学校生活のスタートです。楽しい3年間となりますように！受験は高校までおあずけ！（大畑）



寄稿

コロナ禍による留学停止によって一時途絶えてしまった宇大留学生との交流でしたが、約3年ぶりに再開することができました！今回は、現在タイのカセサート大学に留学されている現役国際学部3年生の和田彩那さんにカセサート大学での留学生活「ザ令和版留学事情」をお伺いしました。

現在カセサート大学に留学中の国際学部3年の和田彩那です。

2022年の8月から23年の5月までの交換留学で、カセサート大学ではマーケティングを専攻しています。宇都宮大学では勉強したことのない分野だったので、分からないことはばかりですが、新しいことを学べるのは面白いと感じています。カセサート大学にはアジア、ヨーロッパを含め世界各国から留学生が来ていて、私が所属する学部は特に多く、授業の半分以上が留学生のクラスも多くあります。そのため、留学生の友達はたくさんできましたが、なかなかタイ人の友達ができないという小さな悩みもありました。私は全くタイ語の読み書きができない状態でタイに来て、

1年間生活していたら、タイ語の読み書きの少しでもできるようになるだろうと思っていましたが、意外と英語だけでなんとかなってしまい、全然タイ語は上達しないまま帰国になりそうです（苦笑）。

また、ご縁があって、在タイ宇都宮大学同窓生の皆様やタイで生活する日本の方々とお話する機会がありました。みなさん、強いパッションを持って生活がしている方が多いと感じました。漠然と海外で生活してみたい、働いてみたいと考えていましたが、タイ留学でタイが大好きになり、将来はなんらかの形でタイと関わりながら働いていきたいと考えています。

国際学部からの留学がスタートした1996年から長い月日を経て留学形態も大きく変わったことを実感！残りの留学生活も楽しく有意義な日々となりますように！タイライフを十分に楽しんでください。



インドネシア、フィリピン留学生と
和田さんは後列左から2番目



▶名称：クット島
▶場所：トラート県@タイ
▶行き方：トラートから船に乗りバンコクから半日の移動
▶お勧め理由：大きなモールもレストランの無いけれど海や浜辺がとても綺麗でゆっくり過ごせました。山道越えて滝まで探検、泳いで遊んだのも楽しい記憶です。
▶最後に訪問した時期：約4年前（原）



もう一度行きたい東南アジアのあの場所

～東南アジア支部メンバーおススメ旅案内（タイ・インドネシア編）～

新年度企画

5



▶名称：タイのラーメン屋さん
(クイティアオ・ムー・マナーオ メープンミ-ร้านก๋วยเตี๋ยวหมูมะนาว แม่บุญมี)
▶場所：サムットソングคราม県@タイ
▶行き方：アムパワ-水上マーケットから車で数分。
▶お勧め理由：様々な種類のタイラーメンがありどれもおいしい。特にムー・マナーオ味のラーメンはお勧め。子供には優しい味付けのバミーナム/ハーン、キアオトートがお勧め。店構えは大きく、清潔。長年地元の人に愛されていたお店だったが、アムパワ-市場が注目され始めた頃から、バンコクの人や中国人ツアー客が多く来店するようになった。
▶最後に訪問した時期：4年前（小沼）

▶名称：① Mee Ton Poe / ② Mee Ao Gea
▶場所：プーケット県@タイ
▶行き方：①プーケット中心地のスリンサークル時計塔の前 / ②Old Phuket Townの南方、Phoonpon Road沿いの橋のすぐ近く
▶お勧め理由：Hokkien Mee (Phuket Noodle) がとにかくまた食べたくなる味。他のメニュー（サテー等）も美味しいです。
▶最後に訪問した時期：約4年前（藤井）



▶名称：ワットプラタート サンティタム วัดพระธาตุสันติธรรม
▶場所：チェンライ県@タイ
▶行き方：チェンライからメーサローンヘレンタカー
▶お勧め理由：中国文化が色濃く残るメーサローンへの道中、突如現れた綺麗なお寺に圧倒されました。山奥に壮大なお寺がきちんと管理されていることに感動しました。
▶最後に訪問した時期：6年前位？（大宮）

▶名称：水上筏シーフードレストラン
(Pae Kruvit seafood restaurant)
▶場所：プーケット@タイ
▶行き方：プーケット東海岸のマブラーオ島向かいにあるレムピン桟橋からロングテールボートで約5分。いくつか同じようなお店があるので、お試しあれ！
▶お勧め理由：海鮮の鮮度は言わずもがな、とにかく気持ちいい。食事の後は自然生け簀にいる魚介類鑑賞を楽しんだりちょっとした小旅行にもなるので是非お勧めです。
▶最後に訪問した時期：約6年前（大畑）



▶名称：テキスタイル博物館
(Museum Tekstil Jakarta)
▶場所：ジャカルタ@インドネシア
▶行き方：タナパン駅から徒歩5分(車で行くことをおすすめします)
▶お勧め理由：19世紀にフランス人の邸宅として使われていた広い敷地内に、パティックや刺繍のテキスタイルなどのインドネシアの美しい布が展示されています。特に良かったのが、そこでパティック作りの体験ができることでした。ゆったりとした空間が心地よく、何度か足を運んで作品作りに取り組みことができました。また住むことがあれば更に勉強し、大作作りに挑戦したいです。
▶最後に訪問した時期：約4年前（知念）



▶名称：Soto Kudus Blok M
▶場所：ジャカルタ@インドネシア
▶行き方：ガンダリア1通り、ピアガーデン交差点近く（チェーン店ですがここに良く行っていました）
▶お勧め理由：いつも賑わっているお店だとなってみるとオススメのSoto（スープ）がとても美味しく、何度も足を運びました。ローカル向けなので初めは注文に戸惑いましたがいつも優しいスタッフ達が快く対応してくれました。またそこで美味しい朝ごはんを食べたいです。
▶最後に訪問した時期：約4年前（知念）

▶名称：Bakmi GM
▶場所：ジャワ島西部を中心にインドネシアの主要都市にあります。
▶行き方：お店により異なります。
▶お勧め理由：インドネシア留学中、ラーメン好きの私が何度もお世話になった名店です。Bakmi Baksoは日本人の口にも合うであろう品。お財布に余裕があればBakmi Special GM Baksoをぜひ！周囲の人に気兼ねすることなく、スープを麺にかけてラーメン風に食べてください！！
▶最後に訪問した時期：忘れましたが20年近く行ってないような気がします。（佐々木）

ザ変
★われ
★談会
トコロ

お住いの地域事情を語り合うコーナー

第八回のお題は、

あなたの地域の“22年度3大ニュース”

連載コーナー

6

大宮さん
@バンコク



Thailand

有名女優チャオプラヤ川に転落

業界関係者とプライベートボートでクルージングに出た後、転落死。事故の経緯を巡って様々な憶測を呼び、お金の存在がちらついた後味の悪い事件でした。

保育センターで銃撃

乳児など子供24人を含む37人が男により銃撃され亡くなった痛ましい事件。男は薬物使用者であったとのこと。薬物取締強化と安全強化対策を切に願う。

大麻解禁

医療目的なのか、一般解禁なのか、イマイチ良くわからない法律改正で、街には大麻関連の商品、お店が増加。公共の場での使用は原則認められていないなど、未だ議論も多い。

China

ゼロコロナ政策の突然の転換！

22年度は中国のニュースがよく日本でも報道された一年でした。したがって、3大ニュースと言われても周知のニュースとなってしまうのですが、やはり1位はコロナ政策です。12月に入り、中国は突然ゼロコロナ政策の行動制限を撤廃、わずかひと月半で8割がたの北京人（北京以外でもだいたい同じ）がコロナ感染したとのこと。

北京人（だけではない）の8割がすでにコロナ感染経験済み？

1位とかわかりますが北京ですすでに人口の8割がコロナ感染済みとか。私も含め同僚や友人も一人を除いて皆12月ごろに発熱しました。どうやらオミクロン株に関しては集団免疫を獲得した模様です。つまりスウェーデンが当初の欧州株でやろうとしたことをオミクロンでやってみたということですね。それなりに痛みも伴った模様です。

日中国交正常化50周年

1972年の田中総理電撃訪中から50年。半世紀の節目を記念すべき大イベントとなる予定でしたが、記念日の9月29日の前後は両国ともにコロナ感染状況が厳しく、折しもの米中関係悪化の影響もあり細々としたものになりました。

以上、街の小さな話題も何かないかと思いましたが、やはり大きなニュースばかり選んでしまいました…あとは円安、北京の物価高すぎ！！



田邊さん
@北京

22年度は明るい話題が少なかったそんな気がします。23年度は明るい話題が増えますように！



狙え インスタ映え!?

アジア取材雑誌
第 11 回

“カンジュルハン”を忘れない

私は近年、サッカーファンになりました。ですから、去年のW杯で盛り上がった皆さまを責めることはありません。ただ、本日お見せするこの1枚、、、このカンジュルハン・スタジアムで起きた“史上最悪”ともいわれる悲劇のことは、ぜひ忘れないで頂きたい…どうかお願いを申し上げます。あれは、W杯の開幕から、たった6週間前の出来事だったのです。

死者135名。大半が女性と子どもでした。東ジャワ州の街・マランで去年10月、地元の強豪チームの敗戦をうけ、サポーターがピッチに侵入。警備にあたった警察が大量の催涙ガスを放ちました。パニックとなった人たちが出口に殺到、次々と圧死したのです。後に、警察は“過剰な対応”を認めましたが、逮捕・起訴された警官はわずか3人に留まります。

「息子は大好きなサッカーを見に行っただけです。なぜ死んでしまったのでしょうか」。サッカー選手だった15歳の息子をなくした父親のうめき声が頭から離れません。これほどまでに不条理な死、いや、“殺人”取材したことは、かつて無いかもしれません。

民主化から20年以上が経過したいまも、治安当局が強大な権限を持ち、独立した司法も望めないこの国で、遺族が“正義”を手にするのは容易ではないでしょう。ですから、せめてサッカーを観戦する時ぐらいいは、“カンジュルハン”という馴染みのない場所で失われた、多くの命を忘れないでほしいのです。

“映え”ない話ですみません。

###

◆取材番組はこちらから視聴できます◆

英語版レポート: [Families of Soccer Tragedy Fight On | NHK WORLD-JAPAN News](#)

皆様こんにちは。TVディレクターの谷澤です。

インドネシアを拠点に、東南アジアでTV番組の企画制作をしています。



(谷澤壮一郎/インドネシア在住)

連載コーナー

8

第十一回 く懐かしの一枚く

ともに感じる東南アジア

絶海の

孤島に広がる

大自然

小沼 洋子

二〇一四年十月

タイ・タチャイ島にて



タイの学校が休みに入り、私は息子とタイ南部へ二人旅に出かけました。クラブ滞在中に現地の人から勧められ、解禁直後の無人島「タチャイ島」に行きました。スピードボートで2時間。絶海の孤島には息を呑むような絶景が広がっていました。透き通った海、真っ白な砂浜。島中央には希少な動植物が生息する山があり、優しいタイ人ガイドさんがハイキングに連れ行ってくれました。タチャイ島... また、いつか訪れてみたいです。

東南アジアへの想いを共に発信していく仲間（国際学部・院同窓生）を募集しています！

東南アジア域内在住同窓生・元留学生・東南アジア域外在住で東南アジアに関わりたい、関わっていききたい同窓生（通称ファンクラブ）の皆様など、興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局兼ニュースレター編集係 大畑（miyukiohata@gmail.com）までご連絡ください。

数多くの同窓生からの声をお待ちしています！

現メンバー（16名）▶大畑美優紀 95・マリー/藤田研▶田邊知成 96・小池研▶ROMANOV（當眞）里絵 96・佐々木（史）研▶栗林（泊）祥子 96・梅木研▶平田勝博 97・友松研▶本間みずほ 97・田巻研▶原理恵 98・藤田研▶谷澤 壮一郎 02・石浜研▶大宮 勇樹 06・マリー研▶知念（高田）知佳 00・田巻研▶諸頭（岩山）晴奈 05・阪本研▶小沼 洋子 97・藤田研▶藤井満春 00・友松研▶佐々木哲夫 99・藤田/中村（祐）研▶駒形麻朋実 17・田巻研▶柴田友美子 06・重田研（※数字は入学年度）